

令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録

1 期 日 令和8年2月4日(水) 16:00~16:40

(マイプロジェクトアワード参加グループ発表 15:30~16:00)

2 場 所 岩手県立金ケ崎高等学校 会議室

3 出席者(敬称略)

小澤 賢 千葉 政芳 鈴木 知里 小原 明男 大森 啓睦 小宮山久美子
小原 拓也 有住 龍星
三森 健 佐々木順一 照井真由美 後藤 裕介 菅野 由香 千葉 和馬
千葉 一弘(書記)

4 次 第

- (1) 開会のことば
- (2) 校長あいさつ
- (3) 会長あいさつ
- (4) 協議
- (5) その他
- (6) 閉会のことば

5 協議の概要

■令和7年度学校教育活動成果並びに評価について → 網掛け部分は公開時に削除。

・学校側より、各種アンケート等(授業評価・学校評価・部活動等活動・いじめ防止)の結果、進路状況、重点目標達成指標確認について報告。

①授業評価(副校長より)

・「学習内容がよくわかるか」の問について、前期末結果に比べ、1・3年は上昇しているが、2年は降下している。各教科の内容が難しくなっているためであろう。後期末の授業評価もあるので、年間を通じての評価は、今後である。

②学校評価(副校長より)

・生徒の質問項目8「いじめの早期発見、いじめ防止指導を積極的に行っている」の評価が昨年より低くなっている一方、保護者の質問項目9「いじめの早期発見、いじめ防止の指導を積極的に行い適切に対応している」の評価は高くなっている。いじめの事案への対応を保護者と情報共有しながら行っていることで高くなっているのではないか。

③部活動等活動(副校長より)

・資料のとおり。

④いじめ防止アンケート(生徒指導主事より)

・第2回のアンケートに挙がってきた案件については、いじめを認知し、県へ報告済み。
・いじめを見たこと聞いたことがあるという質問に対し、保護者から第3回で3件挙がっている。
・いじめがあれば、被害生徒・加害生徒ともに学年団を中心に即座に対応している。それが学校評価の結果になっていると思われる。被害生徒を守るために、加害生徒へ慎重に指導を進めるときがある。そのことが他の生徒からは不満に感じられるのかもしれない。

⑤進路状況（進路指導主事より）

- ・本日1名、私大合格者が出た。
- ・今週～来週のところで、私大の一般入試の結果が出てくる。今回の資料は、総合型・学校推薦型選抜メインの結果である。過半数が年内入試で進路を決定している。
- ・就職者は3名。今年度は公務員（岩手県警）が1名。この学校では久しぶりである。
- ・専門学校進学者についても、目的をもって選べた生徒が多かった。
- ・一方で、何のためにその進路を選んだのか、わからない生徒もいた。早期からの進路指導がいかに大切かを考えさせられる、反省すべき点であった。
- ・合格者の中には、入学してからの学習が大変という生徒もいる。基礎学力が大事である。

⑥重点目標達成指標の確認（副校長より）

- ・項目ア、エが未達。アについては、後期末の授業評価の結果によって目標値を超えていたら○とする。また、エについては、note等で情報発信はしているものの、保護者が生徒の活動を直接見たいのではないかと、ということも考えられる。
- ・以下、各委員からの質問及び意見。

【委員】

- ・重点目標達成指標の未達成項目について、学校に来て生徒の活動を見てみたい、というのはあると思う。そのような機会を増やしてほしい。

【委員】

- ・日頃の学校づくりにおいて先生方の評価が上がっている。そのことが生徒の評価も上がっている結果になっていると思う。お疲れ様でした。

【委員】

- ・いじめの件数が少なくて良かった。

【委員】

- ・未達成項目があるものの、80%を超えているので、ほぼ達成できていると思う。参考にしていきたい。

【委員】

- ・各項目で80%を超えているのはすごいと思う。
- ・授業の内容が分かる、というアンケート項目について、「わかる」ということに対しての生徒とのスタンスが違うのだろう、と思いながら、アンケートを取っている。
- ・授業評価において、「学習はおもしろいと思うか」という質問に対して、肯定的な意見が多いのがすごいと思う。興味を引く授業をしているのだな、と思った。普段の努力が見える。頼もしいと感じる。

【委員】

- ・会議前の発表について、テーマを決めて、まとめて、しっかりと答えている。先生方がフォローしていると思いますが、心に余裕をもって仕事を進めていただければと思います。

【委員】

- ・探究の活動が広がっていて、次の段階に来ていると思う。探究的な授業と教科横断が次のフェーズであると思う。
- ・授業評価について、数学の評価が他教科と比べて低い。何かあるのだろうか。「わかる」と「できる」の差がある。生徒は身につけているのかどうかで判断しているのだろうか。

【委員】

- ・進路状況で就職が3件とあるが、所在地はどこか。
→【学校】1件目は北上に工場があるが、本人は県外勤務希望。2件目は県外で神奈川県。3件目は岩手県警なので、県内。
- ・地元就職してもらえれば、ありがたい。町内企業や奥州市内の企業の方と会う機会がある。金高を残すための1つの糸だが、なんとかつなげられないのか、と思う。
- ・金ヶ崎町内では兼業農家も多い。入学者の間口を広げるという意味で、会社が地元であれば家業も並行してできるということをアピールして金高存続につなげられるのではないか。

■令和7年度課題研究発表会について

【学校】

- ・2月21日に途中入退場自由の形式で実施する。参観して、ご意見いただきたい。

以上